

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-136	小学校	算数	算数	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 118	しょうがくさんすう 1		

1 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書では、教育基本法が示す教育の目標の実現に向けて、次の基本方針のもとに編修にあたりました。

問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる



新しく学習することと、
今までの算数の内容を
つなげることが得意だよ。

学習したことをもとに、
新しいことを
考えることが得意だよ。



特色

1

学びに向かう力、人間性等の涵養

問題発見力・解決力・追究力を育てる教科書

特色

2

思考力・判断力・表現力の育成

見方・考え方を働かせて学び合う教科書

特色

3

生きて働く知識・技能の習得

学びをつないで確かな学力を育てる教科書

1 身近な経験から算数と出会う！

各単元の導入では、子どもの経験とつなげる「きっかけ」ページを設けました。

学びが自分事になるから、算数が好きになります。

単元
導入



▲表紙裏



▲p.9



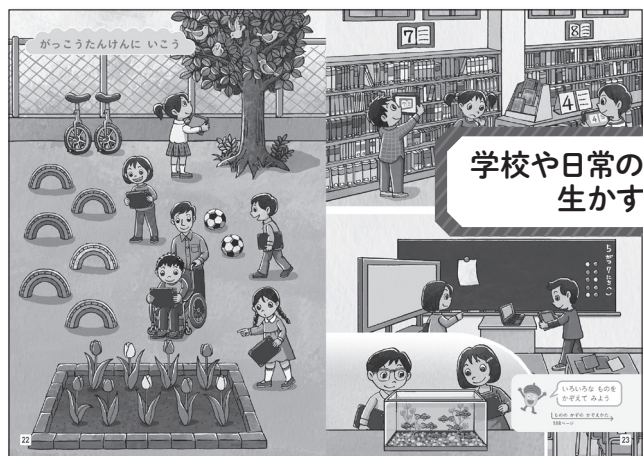
▲p.77～79

2 学んだことを使って、もっと楽しむ！

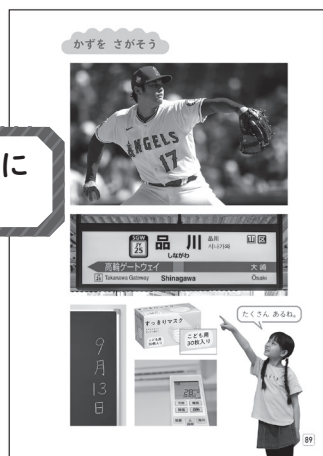
各単元の終わりには、学習したことを使って取り組む活動を設けました。

学んだことのよさを実感するから、算数をもっと楽しくなります。

単元
末



▲p.22～23



▲p.89

学習指導要領との
対照表 p.2
“活動への目的意識”

3 問いをもち、学び合うから、考えが深まる！

「**？**」に気づき、友だちとの対話をとおして“問い **？？**”を深め、**！**を見いだす学習の進め方を経験できるようにしました。未来を創り出していくのは、“問いをもつ力”です。

さんすうの すすめかた

- どんなん もんだいかな
- じぶんで かんがえる
- はなしあって ふかめる
- ふりかえて まとめる
- たしかめる

じぶんで かんがえる

▶ けいさんの しかたを かんがえましょう。

1 2 3 ...

いって かんたんに こたえが わかる ほうは うは ないのかな。

はなしあって ふかめる

4を 1と 3に わけます。

9と 1で 10

10と 3で こたえは 13です。

$9 + 4 = \square$

どうして 4を 1と 3に わけたのかな。

◆ 9+4 の けいさんの しかた

① 9は あと 1で 10

② 4を 1と 3に わける。

③ 9と 1で 10

④ 10と 3で 13

$9 + 1 = 10$

$10 + 3 = 13$

9+4 の けいさんは、10の まとまりを つくって かんがえれば いいね。

たしかめる

① 9+3 の けいさんを しましょう。

だってら ほかの かずでも できるかな。

▲p.112～115

1 見方・考え方がつながると、算数が得意になる！

単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」で顕在化し、後半の学習で活用する場面を設けました。見方・考え方を使って算数をつくる経験が、学習への自信になっていきます。

◆ 9+4 の けいさんの しかた

- ① 9 はあと 1 で 10
- ② 4 を 1 と 3 にわける。
- ③ 9 と 1 で 10
- ④ 10 と 3 で 13

$9+1=10$
 $10+3=13$

つながる ミカタ

こたえが 10 を こえる たしざん

- 10 の まとまりをつくる。
- 10 と あといくつとみる。

$9+4=13$ $8+5=13$

振り返る

けいさんでも 10 の まとまりは だいじだね。

また使う

7+9 の けいさんの しかたを かんがえましょう。

どちらを 10 の まとまりに しようかな。

学習指導要領との対照表 p.2

“見方・考え方のつながり”

2 表現力が豊かになると、考える力はもっと伸びる！

ブロックの操作や、図、式、言葉などを結びつけて考え表現する活動を豊富に扱いました。
友だちと対話しながらよりよい考えに高めていく過程が、思考力・判断力・表現力を育てます。

1 ふえると なんびきに なるでしょうか。

はじめに

具体物

2 ひき ふえると

ぜんぶで

3 あって 2 ふえると、5 になります。

言葉

は	じ	め	に			2	ひ	き	
3	び	き					ふ	え	と
〇	〇	〇	←			〇	〇		
ぜ	ん	ぶ	で	5	ひ	き			
し	き		3	+	2	=	5		
こ	た	え		5	ひ	き			

式

〇をつかうといいよ。

ノート表現も多様に

1 いちごあめは ぶどうあめより なんこ おおいですか。

しき

いちご あめ

ぶどう あめ

3 体で感じる学びが、創造力を育む！

計算のしかたを考え説明したり、図形の性質を見いだしたりする場面などでは、具体的な体験によって学ぶ活動（ハンズオン）を随所に取り入れました。**頭で考えるだけでなく、やってみて気づくことを大切にします。**

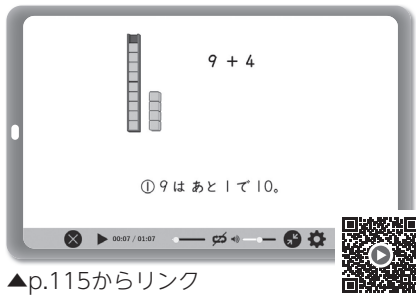
Left page (p.16): Two children sitting at a table. The girl on the left has a speech bubble saying "なんかい たいたかな。" (I think I did it). The boy on the right is holding a card with the number 7. A card with the number 9 is on the table.

Middle page (p.56): Children in a field holding number cards. A speech bubble says "たしざんをつくらう" (Let's make addition). Below, two groups of children hold cards showing addition problems: $6+2$ and $4+4$. The text below the cards says "とーろーさんです。" (It's Taro-san).

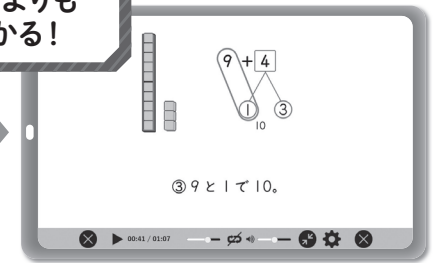
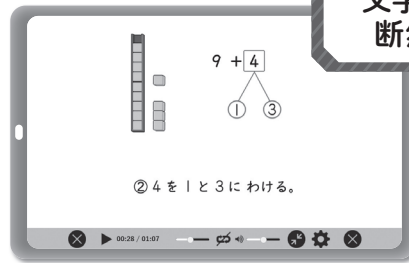
Right page (p.96): Two children stacking blocks. A speech bubble says "いろいろな かたちをつくりましょう。" (Let's make various shapes). Another speech bubble says "どう するも たかく つめるのなら。" (If you can stack it high no matter how you do it).

1 毎時のまとめが動くから、イメージでわかる！

「まとめアニメーション」で、知識・技能まとめを視覚的に表現しました。デジタルのよさを生かした新しい学び方です。



▲p.115からリンク



文字だけよりも
断然わかる！

学習指導要領との対照表 p.1

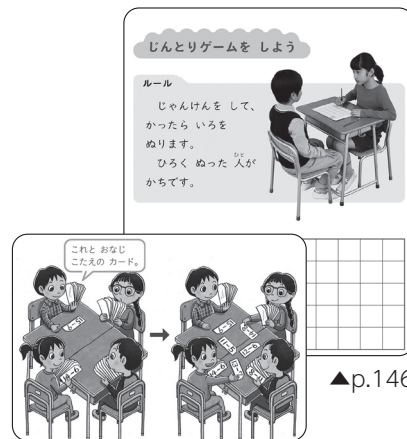
デジタルコンテンツ「まなびリンク」

2 楽しく練習、しっかり学力！

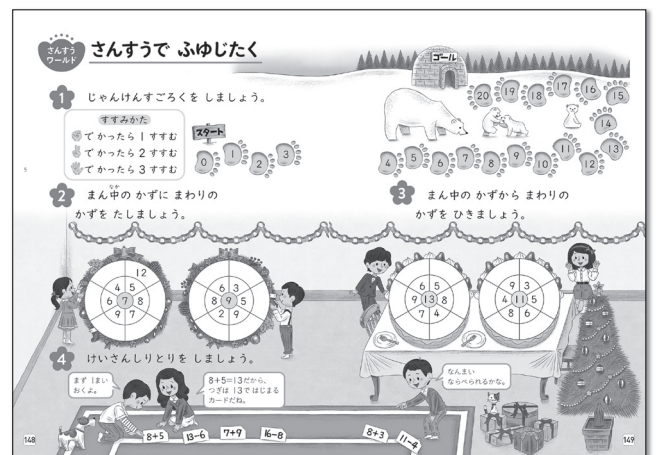
習熟が必要な場面では、ゲームやパズルをしながら練習したり、問題づくりをしたりする活動を取り入れました。楽しみながら反復練習ができるので、基礎学力を無理なくつけることができます。



▲p.30



▲p.133



▲p.148 ~ 149

3 算数の言葉を増やす！

数やものの位置などを多様な表現で言い替えたり、言葉遊びをとおして加法的な見方の素地を培ったりする場面を設けました。算数の言葉を正しく使って学べる子どもを育てます。



▲p.85



▲p.21



▲p.188

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
★ なかよし あつまれ	新しい友だちとの出会いの場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.2～8
1 いくつかな	学校生活の中で友だちと共に学び活動する場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.9～23
2 なんばんめ	学校生活の中で友だちと共に学び活動する場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.30
3 いま なんじ	学校生活の中で時刻を意識できるようにすることで、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.31～33
4 いくつと いくつ	友だちと協力して数を表す活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.35～43
5 ぜんぶで いくつ	身のまわりの様々な場面から題材を選定することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p.45～53
6 のこりは いくつ	身のまわりの様々な場面から題材を選定することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p.59～65
7 どれだけ おおい	多様なノートの書き方を示すことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.72
8 10より 大きい かず	朝顔の観察や貝拾いなどの夏休みの経験を算数の学習のきっかけにすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.77～79
9 かずを せいりして	自分たちで育てた野菜の数を題材とすることで、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うようにしました。(第4号)	p.91～93
10 かたちあそび	箱を積んで町を作る活動を通して、自分が住む町への関心を高め、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	p.95～97
11 3つの かずの たしざん、ひきざん	問題に合わせて、友だちと場面を表現する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.103～105
12 たしざん	生活科の活動との関連を図り、秋さがしの場面を題材とすることで、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うようにしました。(第4号)	p.111～113
13 ひきざん	幼稚園の子どもたちを招待して一緒に遊ぶ場面を題材とすることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.123～125
14 くらべかた	量の比べ方について、友だちの表現と比較する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.140
15 大きな かず	育てた朝顔の種を、来年の1年生にあげるという場面を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.150～151
16 なんじなんぶん	学校生活の中で時刻を意識できるようにすることで、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.165～167
17 どんな しきに なるかな	季節や伝統行事を意識した題材を選定することで、伝統と文化を尊重する態度を養うようにしました。(第5号)	p.175
18 かたちづくり	身のまわりから様々な形を見つけたり、作ったりする活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.177～182
巻頭・巻末	洞爺湖温泉開湯100年記念モニュメントや相馬市尾浜こども公園などの写真から算数を見つける場面を設け、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	表3

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ESD・SDGsへの取り組み

- ・現代社会が抱えるさまざまな問題について、自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

○人権教育・特別支援教育

- ・人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダーやLGBTQなどについても理解が深められるよう配慮しました。
- ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。
- ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-136	小学校	算数	算数	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 118	しょうがくさんすう 1		

1 編修上特に意を用いた点や特色

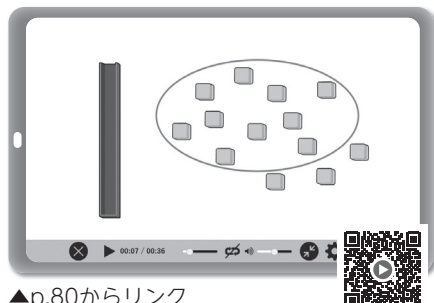
1 デジタルコンテンツ「まなびリンク」で、“もっとわかる・できる・納得する”

全591か所
(1年生用
16か所)

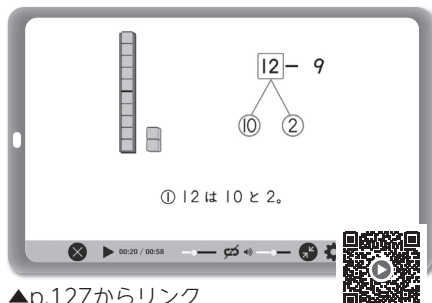


まとめアニメーション

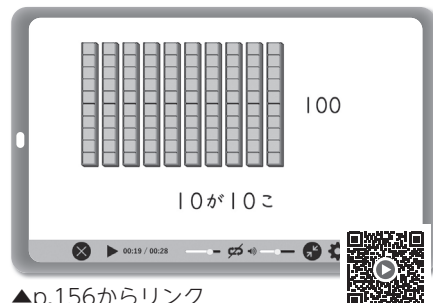
知識・技能まとめをアニメーションにして、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。



▲p.80からリンク



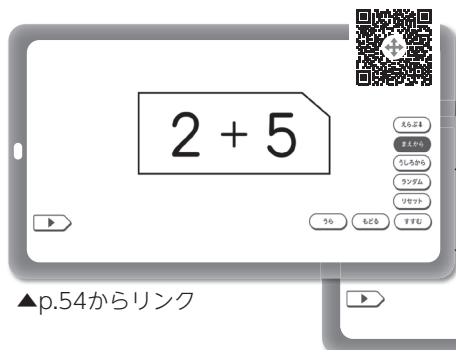
▲p.127からリンク



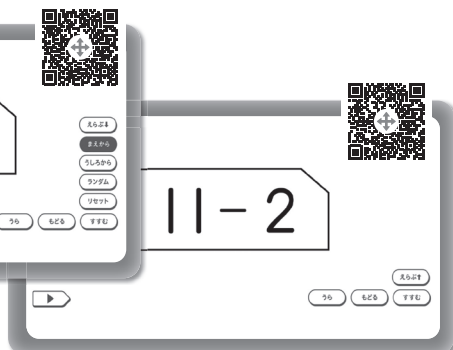
▲p.156からリンク

フラッシュカード・シミュレーション

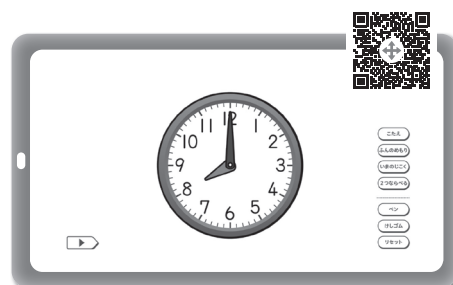
自分のペースで繰り返し練習できる計算カードや、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションも用意しました。



▲p.54からリンク



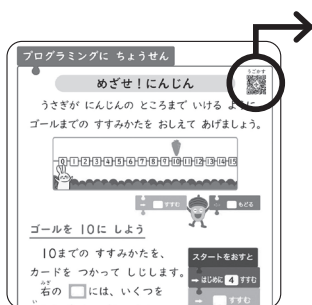
▲p.132からリンク



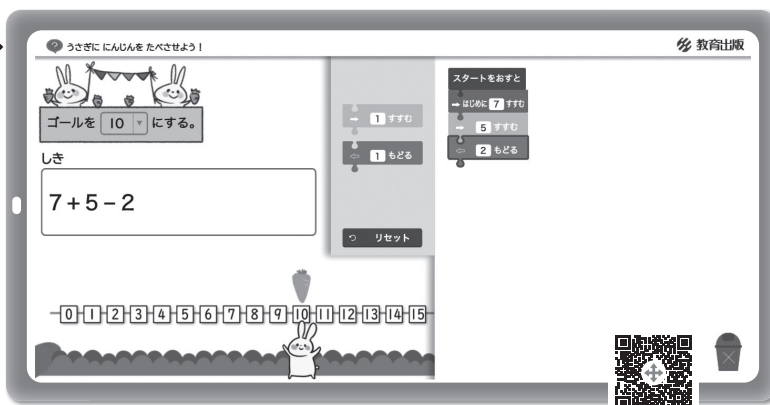
▲p.32からリンク

プログラミング教材

操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、プログラミング的思考に焦点化した授業を楽しめるようにしました。



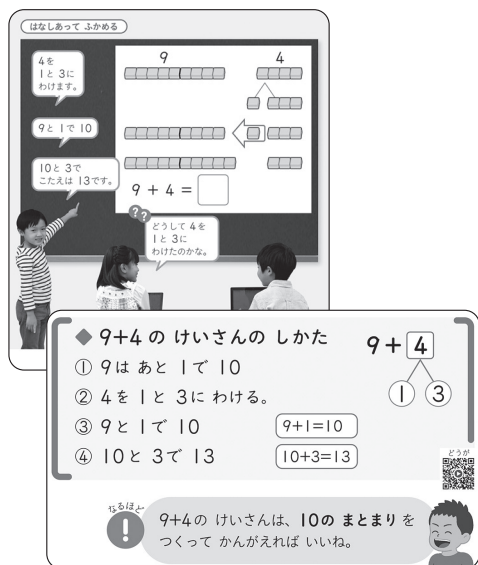
▶p.187からリンク



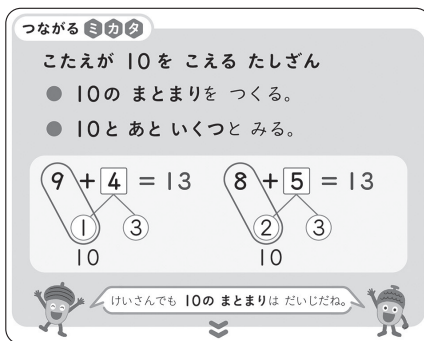
“見方・考え方のつながり”が見えるから、
算数が得意になる

つながるミカタ

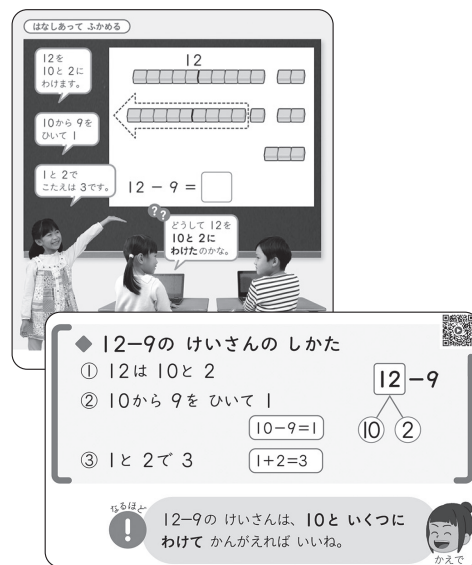
見方・考え方を顕在化し、次の問題解決にもう一度活用することで、**算数で大切にしたい学び方を経験**できるようにしました。



▲p.114 ~ 115



▲p.116



▲p.126 ~ 127

3

“活動への目的意識”が、
学びに向かう力・学びを進める力になる

算数と出会う・算数を使う

日常場面や子どもの経験から学習を始め、単元の終わりには、学んだことを使って遊んだり練習したりする活動を設けるように構成しました。

単元の導入の活動



▲p.111 ~ 113

単元の終わりの活動



▲p.121

検討の観点と内容の特色



観 点	内容の特色	該当箇所
教育基本法、学習指導要領の遵守	▶ 教育基本法が掲げる教育の目的及び目標をふまえ、「問いつづけ、よりよいものを求めて改善しつづける子ども」の育成を目指して編修しました。 ▶ 学習指導要領に則り、その目標がよりよく実現されるように創意・工夫をしました。	全般 全般
主体的・対話的で深い学びの実現	▶ 単元導入の【きっかけ】では、子どもの経験や生活場面から算数の学習との出会いをつくり、学ぶ意義を感じ、目的意識をもって取り組めるように工夫しました。 ▶ 子どもの問いの連続【はてな？→なるほど！→だったら!?】によって学習を進める機会を設け、算数の学び方の素地が培われるようにしました。	p.111 等 p.113～115
基礎的・基本的な知識・技能の習得	▶ 数の意味や計算のしかたについて、知識・技能まとめを【まとめアニメーション】として表現し、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。 ▶ 各単元に【たしかめもんだい】を設け、学習を活動だけで終わらせず、練習問題としても扱い、技能的な定着を図れるようにしました。 ▶ 特設ページ【さんすうワールド】では、算数の問題づくりをしたり、演算決定を問う問題に取り組んだりして、楽しみながら学力を伸ばせるようにしました。	p.115 等 p.122 等 p.75 等
思考力・判断力・表現力の育成	▶ 単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を【つながるミカタ】で顕在化し、後半の学習で自ら活用していく場面を設けました。 ▶ 各単元の終わりには、学習した内容を活用してゲームをしたり問題を出し合ったりする活動を設けました。	p.116 p.30 等
学びに向かう力、人間性等の涵養	▶ 子どもに身近な場面を題材として取り上げ、学習への興味・関心を高めるとともに、友だちと一緒に取り組む活動を豊富に扱い、学ぶ楽しさを味わえるようにしました。	p.77～79 等 p.136 等
ICT の活用	▶ 無償で使えるデジタルコンテンツ【まなびリンク】では、まとめアニメーションやフラッシュカード、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションを豊富に設けました。 ▶ 操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、「プログラミング的思考」に焦点化した授業を行えるようにしました。	 p.187
体験的活動の重視	▶ 場面を把握したり、図形の性質を見いだしたり、計算のしかたを考えたりする場面などでは、具体的な体験によって学ぶ活動（ハンズオン）を重視しました。	p.35、95～97 等
言語活動の充実	▶ 具体物や図、式、言葉などを使って考えたり表したりする活動を豊富に設け、数学的表現力を豊かに育んでいけるようにしました。 ▶ 数やものの位置などを多様な表現で言い替えたり、ものの数の数え方に着目する機会を設けたり、言葉遊びをとおして加法的な見方の素地を培ったりするなど、算数の言葉を増やす機会を随所に設けました。	p.46～47 等 p.21、34、85、188 等

観 点	内容の特色	該当箇所
学年間の系統性への配慮	▶ スタートカリキュラムをふまえ、就学前の経験から算数の学びのきっかけをつくるように工夫しました。また、学年を通じて、子どもの生活経験と結びつけながら学べるようにしました。 ▶ 2学年以降の算数の学び方につなげるために、【はてな？→なるほど！→だったら！？】と問いを連続させて学ぶ機会を設け、問題発見力・解決力・追究力を育てる素地を培うようにしました。	表紙裏、p.9 等 p.113～115
他教科等との関連	▶ 朝顔を育てる活動や、夏休みや冬休み、運動会やお楽しみ会などの学校行事と関連させた題材を豊富に扱い、教科横断的に取り組めるようにしました。 ▶ 道徳科との関連を図り、幼稚園の子どもたちを秋祭りに招く場면을題材にするなど、思いやりの心を育てるようにしました。	p.148～149、 p.150～151 等 p.123～125 等
現代的な諸課題への対応	▶ 自然と触れ合う場面を題材にするなど、環境保全への意識が高められるようにしました。 ▶ みんなで協力して秋祭りの準備をする場面を題材にするなど、勤労についての意識が高められるようにしました。	p.91 等 p.112～113 等
特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	▶ 専門家の監修のもと、カラーユニバーサルデザインに配慮しました。 ▶ ロービジョン（弱視）やディスレクシア（読み書き障がい）に配慮した「UD デジタル教科書体」を採用しました。 ▶ 読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、落ち着いて学べる紙面づくりに配慮しました。また、デジタル教科書や拡大教科書を用意し、多様なニーズに対応できるようにします。 ▶ 発達段階に配慮し、文章題では条件文と求答事項を短文で区切り、問題文と図や式を対応させやすくしました。	全般 全般 全般 全般
表記・表現	▶ 文章は平易で簡潔、かつ理解しやすいように配慮しました。 ▶ 教材選定や場面の表現では、言葉遣いや服の色など、固定的なイメージで性の区別をしないようにするなど、多様性や人権について十分に配慮しました。	全般 全般
配列・分量	▶ 系統性や習熟期間などを考慮し、最適な学習効果が得られる単元配列を工夫しました。 ▶ 基礎的・基本的な内容を丁寧に扱うとともに、定着のために十分な分量の問題を用意しました。	全般 全般
印刷・造本	▶ 紙の強度を維持しつつ、軽量の紙を使用することで児童の身体的な負担に配慮しました。 ▶ 環境やアレルギーなどに配慮し、再生紙と植物油インキを使用しました。また、表紙には抗菌加工をしました。	全般 全般
創意・工夫	▶ 「学びやすさ」の観点から、算数の学び方を身につけられるように工夫しました。また、デジタルコンテンツを有効に活用して、楽しく学習を進められるようにしました。 ▶ 「授業のしやすさ」の観点から、主体的な学びのきっかけをつくる導入活動や、ねらいにせまる発問、対話的な学びを促す発問などがわかりやすくなるように工夫しました。 ▶ 「学力向上」の観点から、習熟の機会を適切に設けるとともに、基礎的・基本的な問題に重点をおき、丁寧な支援ができるように工夫しました。 ▶ 「算数好きを増やす」観点から、自ら考えたり、友だちと学んだりする楽しさを味わえるように工夫しました。また、子どもたちの興味・関心を高める教材を豊富に用意しました。	全般 全般 全般 全般

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
★ なかよし あつまれ	A(1) ア(ア)	p.2～8	5
1 いくつか	A(1) ア(イ)(ウ)	p.9～23	8
2 なんばんめ	A(1) ア(イ)(ウ) B(1) ア(ウ)	p.25～30	4
3 いま なんじ	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.31～33	1
4 いくつと いくつ	A(1) ア(エ)	p.35～43	7
5 ぜんぶで いくつ	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.45～56	9
6 のこりは いくつ	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.59～67	7
■ いったり きたり	A(1) ア(ウ) A(2) ア(ウ)	p.68	1
7 どれだけ おおい	A(2) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.71～74	3
■ さんすう なつやすみ	A(2) ア(イ)(ウ)	p.75	1
8 10より 大きい かず	A(1) ア(ウ)(エ)(オ)(ク) イ(ア) A(2) ア(エ)	p.77～89	10
9 かずを せいりして	D(1) ア(ア) イ(ア)	p.91～94	2
10 かたちあそび	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.95～100	5
■ こうていで さんすう	A(2) ア(イ)(ウ)	p.102	1
11 3つの かずの たしざん、ひきざん	A(1) ア(エ) A(2) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.103～109	4
12 たしざん	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.111～121	8
13 ひきざん	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.123～133	8
■ どこに あるかな	B(1) ア(ウ)	p.135	1
14 くらべかた	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.136～146	9
■ さんすうで ふゆじたく	A(1) ア(ウ) A(2) ア(ウ)	p.148～149	1
15 大きな かず	A(1) ア(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク) イ(ア) A(2) ア(エ)	p.150～164	11
16 なんじなんぷん	B(2) ア(ア) イ(ア)	p.165～168	3
■ おなじ かずずつに わけよう	A(1) ア(ク)	p.170	1
17 どんな しきに なるかな	A(2) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.171～176	5
18 かたちづくり	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.177～182	5
◎ 1年の まとめ	指1(2)	p.184～186	3
※指：第3 指導計画の作成と内容の取扱い		(予備時数 13時間)	計 123

教科書の構成

なかよしあつまれ
(入門期の活動)

問題

練習

単 元
問題

練習

…
活動
(学んだことの活用)

たしかめもんだい

さんすうワールド
(特設教材)

学年のまとめ

プログラミングにちょうせん

もののかずのかぞえかた
(助数詞の一覧)

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-136	小学校	算数	算数	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 118	しょうがくさんすう 1		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
88	10 を ひく ひきざん	1	A(2)ア(エ) 簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。 上記に関連して、 $17-10$ の計算の仕方を考えることを通して、減法についての理解を深める。	0.25
94	かずの おおさを くらべよう	1	D(1)ア(ア) ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすること。 上記に関連して、数の大小を比べる活動を通して、○などを並べて数の大きさを表したグラフに表すことができることを知る。	0.5
161	さんすうひろば	1	A(1)ア(カ) 簡単な場合について、3位数の表し方を知ること。 上記に関連して、百の位を知ること、十進位取り記数法の原理について理解を深める。	0.25
185	大きな かずの たしざん	1	A(2)ア(エ) 簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。 上記に関連して、 $34+20$ の計算の仕方を考えることを通して、加法についての理解を深める。	0.5
合 計				1.5

(「類型」欄の分類について)

- 1 …学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 …学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容